

人間文化科の2，3年生が絵本作成講習会 およびラオス講演会を行いました（11/25(月)）

11月25日（月），人間文化科の2，3年生が「子どもの発達と保育」，「子ども文化」の授業の一環として，タブレット型PCを用いてラオスに贈る絵本の作成を行い，絵本を贈るラオスの現況に関する講演会に参加しました。

絵本作成の講師は，株式会社グッド・グリーフの代表取締役朝倉民枝氏，講演会の講師は「茨城・アジア教育基金」を支える会の井川憲一氏が務めました。

グッド・グリーフ社は，ICTを活用して子どもたちの創造表現活動を支援する会社で，「ピッケ」という初心者でも作成しやすい絵本づくりのソフトを開発しています。本校では，「ピッケ」のソフトを用いて生徒自らが絵本を作成し，支える会の方により日本語をラオス語に翻訳していただき，ラオスの子どもたちに贈るというプロジェクトを行っています。

絵本を作成した生徒は，「タブレット型PCを使って絵本を作成するのは大変だったが，うまくできたと思う。」，「私たちのつくった絵本がラオスの子どもたちに届けられると思うとわくわくする。」などの感想を述べていました。なお，完成した絵本は「茨城・アジア教育基金」を支える会がラオスの支援を行っている縁により，ラオスに絵本を贈っていただいたり，家庭クラブの行事の時に活用しています。

授業の一環として絵本を作るのは4年目，ラオスの子どもたちに絵本を贈るのは3年目になります。



絵本作成の手順を確認しています



タブレット型PCを使って絵本を作成



絵本の完成イメージです



ラオスに関する講演会の様子です